

第 18 回 バスティン教材研究会

日程	2012 年 7 月 18 日 (水) 10 : 30 ~ 12 : 00 (エルム楽器千歳)
出席者	杉山・西野・長谷・伊藤(美)・伊藤(臣)・石井・石山・大和 (見学…吉田先生) 以上 9 名
議題(テーマ)	『パーティーAのガイドブック読み合わせ』
ガイドブックの読み合わせ	<p>15 2つのくろいけんばん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音の高さを学ばせる→音域を広くとって、高い、低いを強調させるとわかりやすい ・ 黒鍵の隣り合わせの音で高い低いがわかるように <p>16~17 すきーりょこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい手の形を覚えさせ指示されている指番号で弾けるようにする。 ・ ピアノですぐに弾かずに、テキストの鍵盤図で弾く練習から始める。 →自宅でも同様に練習させる ・ 曲のパターン(違う高さで同じフレーズが繰り返される)を理解させる <p>18~19 2匹のくろねこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前ページと同様に手の形、指番号に気をつけ、歌いながら弾かせる ・ 重音が出てくるので、一緒に2つの音を弾くことの説明をする <p>20 おとのなまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白鍵の 7 つの音を音名で読めるようにし、さらに逆からも読めるようにする。 ・ 読めるようになったらテキストの絵と同じ色で枠内のアルファベット(ABCDEFG, ラシドレミファソ)を囲む <p>21 けんばんの ABC(ラシド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ABC(ラシド)の場所を覚えさせる ・ 右手と左手どちらでも弾けるように(C ポジションが見つけやすければ、左手からのほうが弾きやすい) ・ 短調、長調の両方の和音をつけても良い <p>22 おゆびでおはなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノの蓋を閉め、蓋の上で指だけ動かす。この時、楽譜を目で追わせる ・ 出来るようになったら、3つの黒鍵で弾く <p>23 おんぷとかぞえかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四分音符、二分音符、全音符を区別できるようにする ・ 手をたたきながらリズム読みをし、それぞれの音の長さに合わせる (一つの音に対して、手をたたくのは1回)
レッスンのペースについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの生徒に合わせたペースで指導して良いが、A は基礎中の基礎なので、飛ばしたりせず、しっかり学ばせたほうが良い ・ 既に他の教材でレッスンが進んでいる場合は、テクニックのみ取り

	入れるのも効果的
夏休みの宿題 「作曲家調査シート」	<ul style="list-style-type: none">・ 作曲者の名前、似顔絵、国名、作品(曲)などを記入できるようにした用紙を配布し、夏休みの宿題にする・ 夏休み明けに提出してもらい、綴じて冊子にすると面白い